

令和4年5月30日

令和3年度学校法人浪速学院

浪速高等学校・浪速中学校事業報告書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

I. 法人の概要

①教育方針・校訓・教育目標

○ 教育方針

本校の教育方針は、教育基本法に拠り、新教育の理念に則り、民主的、社会的、平和的、自主的、創造的な人格の確立を目標にし、我が国の精神と伝統の文化を重んじ、祖先の精神を受け継ぐ心を育むことに努める。

即ち、神社神道の精神によって、敬神崇祖の精神を養うと共に道徳心を以て社会の秩序を守ることを基本とし、未来に羽ばたく若者を育てることが本校教育の基調である。

○ 校訓

神社神道の理念である「浄・明・正・直」を校訓とし、生徒指導の基本とする。

○ 教育目標

校訓に基づく全人教育は教育の基本である。同時に生徒の才能と適正を開発し、学力体力の増進を図り、個性豊かで心身ともに健全な次代の日本を担う人間を育成する。

1) すべての生徒に人間性豊かな心を！

校訓のもとに徳性を涵養し、礼儀を重んじ、感謝の心をもつ生徒の育成に努める。

2) すべての生徒に学習の喜びを！

生徒の無限の可能性をひき出すために、基礎学力の充実を図り、主体的に学習させることにより、学習する喜びをもたせるよう努める。

3) すべての生徒に体力と気力を！

健康に留意し、「健康の自主管理」をモットーに体力の向上を図り、頑張りのおかげで体力、気力をもつ積極性のある生徒の育成に努める。

②沿革

1923年（大正12年）	財団法人大阪国学院により「浪速中学校」設立
1948年（昭和23年）	学制改革により「浪速高等学校」と改称
同年	浪速中学校併設
1958年（昭和33年）	「中学校」募集停止
1983年（昭和58年）	「理数科」設置
1985年（昭和60年）	「新総合体育館」竣工
同年	「中学校」募集再開
1989年（平成元年）	全教室「冷暖房」完備
1997年（平成9年）	普通科に「英数コース」、「総合コース」設置
2005年（平成17年）	高校男女共学・コース再編
同年	特進文科コース、英語集約コース設置
2007年（平成19年）	中学校男女共学スタート
2009年（平成21年）	校外宿泊学習施設「多聞尚学館」開館
同年	関西大学パイロット推薦制度指定校
2010年（平成22年）	校外総合運動場「浪速ふくろうスタジアム」竣工
2011年（平成23年）	法人名を「浪速学院」に改称
同年	「浪速武道館」竣工
同年	「新クラブハウス」「新カフェテリア」竣工
2012年（平成24年）	「千早清明寮」竣工
2013年（平成25年8月）	校内人工芝グラウンド 竣工
2014年（平成26年3月）	新校舎「東館」、新東門「天岩屋戸門」竣工
2015年（平成27年8月）	新校舎「中央館」竣工
2016年（平成28年3月）	新学院神社 竣功
同年	普通科「文理S1コース」設置
2017年（平成29年）	「至誠寮」竣工
同年	校外多目的総合運動場「美原スポーツキャンパス」取得
同年	「多聞尚学館」改修：「多聞ラウンジ」新設
2018年（平成30年3月）	「浪速ふくろうベースボールスタジアム」竣工 (「浪速ふくろうスタジアム」を野球専用球場に改修)
同年（平成30年3月）	「クラブハウス棟」増築
同年（平成30年3月）	「English Communication Labo」(ECL教室)新設
2019年（平成31年3月）	「浪速八咫烏庭球倶楽部」竣工 (テニスコート5面・クラブハウス)

- 同年（平成 31 年 3 月） 「浪速武道館」増築（空手道場「錬武館」拡張）
- 同年（令和元年 8 月） 「美原スポーツキャンパス」を「高天原スポーツキャンパス」に改称
- 同年（令和 2 年 4 月） 多聞果樹園・多聞楽舎完成
- 同年（令和 2 年 9 月） 校内全ての教室に Wi-Fi 環境整備完了
- 2021 年（令和 3 年 1 月） 高天原スポーツキャンパス「浪速乾坤一擲ドリームフィールド（「Kフィールド」サッカー・ラグビー・アメリカンフットボール、陸上競技トラックの総合競技場）」竣工
- 2022 年（令和 4 年 1 月） 高天原スポーツキャンパス「産土ゴルフクラブ練習場（産土孔球倶楽部）」（シミュレーションゴルフ・打球練習場）竣工

③設置する学校

- ・ 浪速高等学校 全日制課程 生徒定員 2400名
(普通科 2400名)
- ・ 浪速中学校 生徒定員 360名

II. 法人会議

(1) 理事会

①令和 3 年度第 1 回理事会

開催日時 令和 3 年 5 月 31 日（月）午後 3 時 00 分～午後 5 時 00 分

途中評議員会開催につき中断あり

開催場所 学校法人浪速学院 理事・評議員室（東館 1F）

出席者 理事 8 名 監事 2 名

審議事項 ・理事長より「法人経営と校務運営の理事長・学院長総括報告と提議・審議」
について

・理事長の総括報告・提議・審議を受けての各種報告について

- ① 令和2年度決算（案）並びに令和2年度事業報告（案）
- ② 令和2年度決算に係る監査報告及び公認会計士による総括
- ③ 令和3年度入学者数（高校・中学校）他校比較

- ④ 働き方改革「アクションプラン」実施に関する活動状況
- ⑤ 新型コロナウイルス感染症に関する本校の現状
- ⑥ 学校自己評価について 他

②令和3年度第2回理事会

開催日時 令和3年12月22日（水）午後3時00分～午後5時00分

途中評議員会開催につき中断あり

開催場所 学校法人浪速学院 理事・評議員室（東館1F）

出席者 理事6名 監事2名

審議事項 ・理事長より「法人経営と校務運営の理事長・学院長総括報告と提議・審議」
について

・理事長の総括報告・提議・審議を受けての各種報告について

- ① 令和3年度中間決算（案）
- ② 令和3年度中間決算に係る監査報告
- ③ 教育環境整備 産土ゴルフ練習場建設工事進捗状況について
- ④ 令和4年度入試 入試広報活動の状況について
- ⑤ 開校100周年に向けて

・人事に関する事項

- ① 専任教員・職員採用について 他

③令和3年度第3回理事会

開催日時 令和4年3月24日（金）午後3時00分～午後4時20分

途中評議員会開催につき中断あり

開催場所 学校法人浪速学院 理事・評議員室（東館1F）

出席者 理事9名 監事1名

審議事項 ・理事長より「法人経営と校務運営の理事長・学院長総括報告と提議・審議
案件」について

・理事長の総括報告・提議・審議を受けての各種報告について

- ① 令和3年度一次補正予算（案）並びに令和4年度当初予算（案）及び令和4年度事業計画（案）
- ② 「開校100周年」に向けて
- ③ 重要案件：別館・中学校棟の建設について
- ④ 令和3年度大学進学実績（令和4年度大学入試）
- ⑤ 学則（高校）教育課程の変更について

・人事に関する事項

- ① 令和4年度 管理職及び校務運営体制
- ② 専任教員の採用について 他

(2) 評議員会

①令和3年度第1回評議員会

開催日時 令和3年5月31日(月)午後3時20分～午後4時45分

開催場所 学校法人浪速学院 中央館ホール(中央館1F)

出席者 評議員24名 監事2名

諮問事項 ・理事長より「法人経営と校務運営の理事長・学院長総括報告と提議・審議」
について

・理事長の総括報告・提議・審議を受けての各種報告について

- ① 令和2年度決算(案)並びに令和2年度事業報告(案)
- ② 令和2年度決算に係る監査報告及び公認会計士による総括
- ③ 令和3年度入学者数(高校・中学校)他校比較
- ④ 働き方改革「アクションプラン」実施に関する活動状況
- ⑤ 新型コロナウイルス感染症に関する本校の現状
- ⑥ 学校自己評価について 他

②令和3年度第2回評議員会

開催日時 令和3年12月22日(水)午後3時20分～午後4時50分

開催場所 学校法人浪速学院 中央館ホール(中央館1F)

出席者 評議員24名 監事2名

諮問事項 ・理事長より「法人経営と校務運営の理事長・学院長総括報告と提議・審議」
について

・理事長の総括報告・提議・審議を受けての各種報告について

- ① 令和3年度中間決算(案)
- ② 令和3年度中間決算に係る監査報告
- ③ 教育環境整備 産土ゴルフ練習場建設工事進捗状況について
- ④ 令和4年度入試 入試広報活動の状況について
- ⑤ 開校100周年に向けて

・人事に関する事項

① 専任教員・職員採用について 他

③令和3年度第3回評議員会

開催日時 令和4年3月24日（木）午後3時20分～午後4時00分

開催場所 学校法人浪速学院 中央館ホール（中央館1F）

出席者 評議員23名 監事1名

諮問事項 ・理事長より「法人経営と校務運営の理事長・学院長総括報告と提議・審議案件」について

・理事長の総括報告・提議・審議を受けての各種報告について

① 令和3年度一次補正予算（案）並びに令和4年度当初予算（案）及び令和4年度事業計画（案）

② 「開校100周年」に向けて

③ 重要案件：別館・中学校棟の建設について

④ 令和3年度大学進学実績（令和4年度大学入試）

⑤ 学則（高校）教育課程の変更について

・人事に関する事項

① 令和4年度 管理職及び校務運営体制

② 専任教員の採用について 他

Ⅲ. 事業の概要

1. 学校改革第二ステージ「浪速新時代の幕開け」

本法人は、木村理事長を招聘し、平成18年12月の着任以来、「浪速改革」を断行してきた。就業規則の改定・新人事制度並びに新給与体系への移行、人材育成・評価システムの導入等も含めて教職員の人件費抑制施策に踏み切る一方で、入試広報室へ経営資源を投入したきめ細かい生徒増加施策の展開により、財務体質の改善に取り組んだ。また、教職員の意思結集・一致協力のために学校の組織化と新たなマネジメントの実践し、新しい施設設備へ積極投資する広報戦略を展開してきた。これまでの教育環境整備の実践状況は次の通り。

平成18年12月 木村理事長 就任

平成19年4月 木村理事長、校長兼務 「浪速改革のスタート」

- ①平成 19 年 8 月 正門「改革の門」 更新
- ②平成 21 年 4 月 校外学習合宿施設「多聞尚学館」 開設
- ③平成 22 年 6 月 校外グラウンド「浪速ふくろうスタジアム」 開設
- ④平成 23 年 3 月 武道場総合施設「浪速武道館」 竣工
- ⑤平成 23 年 8 月 クラブハウス棟（部室・教室・カフェテリア） 竣工
- ⑥平成 24 年 8 月 多聞尚学館「千早清明寮」 改修
- ⑦平成 25 年 8 月 校内グラウンド全面人工芝生化
- ⑧平成 26 年 3 月 新館（現西館）内部改修（中学校職員室、ボクシング道場他）
- ⑨ 同年 同月 体育館 改修
- ⑩ 同年 同月 新校舎「東館」（5 階建）・「天岩屋戸門」 竣工
- ⑪ 同年 同月 旧・学院神社 撤去（岩手県大船渡市移設）、神宮遥拝所 新設
- ⑫ 同年 同月 クラブハウス棟「体育教官室」 新設
- ⑬ 同年 同月 外部テニスコート 開設（1 年間）
- ⑭平成 27 年 3 月 多聞尚学館 大規模改修（外装更新・防水対策）
- ⑮平成 27 年 8 月 新校舎「中央館」（8 階建） 竣工
- ⑯平成 27 年 9 月 「トレーニングルーム」 新設、「西館音楽室」他 改修
- ⑰平成 28 年 3 月 「第 2 ボクシング練習場」 設置、「中学技術室」 設置改修
- ⑱平成 28 年 3 月 西館外壁 改修
- ⑲平成 28 年 3 月 「学院神社」 竣功、正門・外構工事 竣工

上記がこの 10 年に及ぶ経営改善の成果であり、平成 28 年 5 月 10 日の「新校舎・新学院神社竣功奉祝祭」御齋行をもって「浪速改革」第一ステージが終幕した。他校を追い越し、圧倒的に凌駕する燦然と輝く教育環境が整備され、「新しい学校の形」が完成を迎え、本校が未来永劫に亘って発展するための「浪速の礎」となり、浪速百年の新しい歴史が始まった。

改革 11 年目の 29 年度は第二ステージの幕が開き、時代は留まることなく移り変わり、12 年間の「浪速改革の成果」を享受しながら、30 年度は有終の美を迎えた。

31 年度は御代が替わり、「令和元年」の始まりとともに「浪速改革 令和新時代」は教育の中身の更なる充実と発展のために、教職員一致団結して取り組んだ。

2. 教育トライアングルの整備・充実、有効活用

平成 28 年度に完成した 8 階建の新校舎「中央館」と三代目御本殿の「学院神社」は、「浪速改革」の集大成であり、「新生浪速」の象徴である。校内施設は、これまでに「浪

速武道館」・「クラブハウス棟」・「人工芝グラウンド」が既に整備が完了しており、29年度は新たに近隣に「至誠寮」が加わった。

この校内施設を中心として、校外の学習宿泊施設「多聞尚学館」、同じく校外の多目的グラウンド「浪速ふくろうスタジアム」、これらの施設によって形成する教育トライアングルが文武両立の拠点となり、広報活動において大きな効果をもたらしてきた。

29年度は、校外グラウンド「美原スポーツキャンパス」の取得を契機に、教育環境の更なる整備に着手し、「多聞尚学館」は内外装・外構のリフレッシュ、「浪速ふくろうスタジアム」は人工芝生化に伴い多目的グラウンドから野球専用球場「浪速ふくろうベースボールスタジアム」に一新し、施設の整備・充実を図った。

30年度は、「美原スポーツキャンパス」第1期工事として「浪速八咫烏庭球倶楽部」（テニスコート5面・クラブハウス）を整備し、女子空手道部発足に伴い「浪速武道館」増築を行った。

31年度は御代が替わり「令和元年」を迎え、「美原スポーツキャンパス」は「高天原スポーツキャンパス」と改称し、第2期工事としてサッカー・ラグビー・アメリカンフットボール、陸上競技トラックの総合競技場「浪速乾坤一擲ドリームフィールド（Kフィールド）」の整備を着工し、令和3年1月に完成した。

続いて、第3期工事として「産土ゴルフクラブ練習場（産土孔球倶楽部）」整備に着工し、シミュレーションゴルフ・打球練習場が令和4年1月に完成した。更にアプローチ・パター練習場が同年5月頃に完成予定で工事を続行している。

そして令和4年度入試で新記録を樹立した生徒数の増加を受けて教育環境整備計画を一部見直し、生徒受入体制整備を優先し、西館北側渡り廊下に接続する別館・NS館（浪速真田丸館、地上3階建・6教室）の建設に着手し、令和4年度末までに完成を目指す。その後、開校100周年を迎える令和5年度からは、これに接続する新校舎・中学校棟（地上6階建）の建設について検討を進めていく。

これらを文武両立の拠点として、令和4年度以降も引き続き生徒数の安定確保のために広報活動に有効活用していく。

3. 生徒募集

令和4年度（2022年度）生徒募集状況については、入試広報部の詳細な資料の通り、志願者ベースで高校2,124名・中学382名となり、令和3年度募集と比べて少子化進展下において高校は前年比+365名となり、中学校も前年比+5名となり、大阪府下私学における上位校として存在感を示した。また、入学者ベースは高校が878名（前年比+107名）で過去最高となり、中学校が133名（前年比▲3名）であったが、中高合計の入学者数

1,011名の新記録を樹立し、この結果、令和4年度の在籍生徒数は2,654名（高校2,252名、中学402名）の過去最高記録となる。3年度期首と比べて+152名となったが、少子化進展下においても遂に生徒総数2,600名を超え、府内屈指の大規模校に位置付けられる。これは「浪速改革」15年間の取り組みが内外に評価された成果と言える。

令和5年度（2023年度）の生徒募集については、過去の実績に驕ることなく地道な活動を続けていく。この「浪速人気」を不動のものとするため、入試広報部をはじめ本校で働く全教職員の総合力を結集し、これまで以上に直向きな取り組みを続けていく。

4. 類・科・コース並びにクラス数・生徒数

令和3年度の全校生徒数は2,502名となった。全校生徒に占める女性比率が37.3%と着実に増加しており、生徒総数2,500名を超える府内屈指の大規模校として、より付加価値の高い教育を提供し、しなやかで頼もしい浪速生を育成するために、「新学習指導要領」への対応を軸とし、教育の中身を進化させていく。教科指導とともに、教員は生活指導面において、緊張感をもって対応していく。

5. 学校運営体制

(1) 全般

令和3年度は全校生徒数が2,502名（前年度対比+136名）となり、常勤講師21名の教員を迎え入れ、教職員総合計185名（前年度対比+5名）で運営を行った。

(2) 管理職

令和3年度の管理職は、木村理事長が学院長兼務を継続し、そして、法人及び校務運営の強化のため、宮木理事が新たに常務理事に就任し、引き続き副学院長を兼務した。

尚、飯田高等学校長及び中村中学校長、出口入試広報部教頭、森川高等学校教頭、西田中学校教頭、吉田事務長は継続し、以上の管理職8名に加え、新たに管理補佐職として近藤高校教頭補佐及び小林事務長補佐を任命し校務運営の強化を行い、教職員への指導育成を重視して更なる「学校改革」を推し進めていった。

6. 学校行事

令和3年度は、「陸上競技大会」「高等学校耐寒訓練」「中学校耐寒金剛山登山」「合唱コンクール」「高校海外語学研修」「エンパワーメントプログラム」「夏期特別選抜合宿(高校3年生対象)」「信貴山夏季特別合宿(高校2年文理コース生対象)」等、例年の主要な行事は、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、安全を重視してやむを得ず中止とした。

こうした状況下においても、「伊勢修養学舎」については宿泊日程を日帰り日程「伊勢参り」、「浪速祭」については「クラス対抗動画コンテスト」、「新春拝賀始業式」は式進行を簡略・短縮化、「高校海外修学旅行」は国内旅行に形を変えて実施する等、一部の行事についてはできる限りの感染防止対策を取りながら状況に応じて柔軟な対応を行った。

7. 生徒指導上の目標

令和3年度も前年度に引き続き、「教科指導」並びに「生活指導」を重要課題と位置づけた。

「教科指導」に関しては、より付加価値の高い教育の提供のために教員一人一人の質的向上を目指し、更なる「教員の指導力向上」を図り、「浪速の教育力」を確固たるものにするべく実践した。また、学習指導要領改訂に向けて「主体的・能動的な学習」ができる生徒育成を目指して、「ICT教育推進部」主導によりタブレットや電子黒板等のICT機器によるweb教材やメディア教材を用いた主体的教育を本格的に実践していくと同時に、より効果的な活用方法の研究を進めていった。

「生活指導」に関しては、近年、社会において説明責任、危機管理等の実践が様々な場面で問われる時代であり、保護者・生徒に対する本校の姿勢・指導方針の説明・浸透が大切である。また、学習指導要領改訂に向けて「学びに向かう力・人間性の涵養」「知識・技能の習得」「思考力・判断力・表現力等の育成」といった新しい時代に必要な資質・能力の育成が問われる教育現場において、基本的な人間力の育成が生徒指導の根本と考える。特に、モラル、コミュニケーションの低下による「いじめ問題」「いじめ行為」の早期発見早期指導を充実させ「思いやりの心」「協調性」「感謝する心」を育てる指導を目標に、「生徒の言動に注意を払い見守るやさしさ」と「駄目なものは駄目である」という強い姿勢を持って、全教職員が一致団結して生徒指導に取り組んだ。

IV. 財務の概要

1. 令和3年度決算の概要

資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表、財産目録、監査報告書は別添参照

2. 資金収支

収入の部は、生徒等納付金収入 1,336 百万円（対前年比+57 百万円）、受験者数 2,278 名（高校 2,100 名、中学校 178 名）による手数料収入 45 百万円、入学手続き者数 1,011 名（高校 878 名、中学校 134 名）による入学金前受金収入 194 百万円（対前年比+19 百万円）、補助金収入 1,011 百万円（対前年比+72 百万円）、前年度繰越支払資金 229 百万円等で、収入の部合計 3,876 百万円（対前年比▲41 百万円）となった。

支出の部は、借入金返済支出において今年度の返済 469 百万円を支払い、施設関係支出等において高天原スポーツキャンパス第3期工事「産土ゴルフクラブ練習場」（シミュレーションゴルフ・打球練習場）新設工事その他に加え、高天原アリーナ建設計画の設計業務等を含め、202 百万円を支払った。資産運用支出において、旅行積立引当 150 百万円等の積み増しを行ったうえで、翌年度繰越支払資金は 438 百万円となった。

3. 事業活動収支

事業活動収入計 2,533 百万円（対前年比+108 百万円）から事業活動支出計 2,233 百万円を差し引いた基本金組入前収支差額が 299 百万円となった。今年度は借入金返済及び施設・設備の新設に伴い基本金組入額合計▲680 百万円を計上した結果、当年度収支差額▲381 百万円となったが、前年度繰越収支差額▲262 百万円を通算し翌年度繰越収支差額は▲643 百万円となった。

4. 貸借対照表

資産の部合計は 14,717 百万円（対前年比▲124 百万円）、これより負債の部合計 1,910 百万円を差し引いた本年度の資産総額（差引正味財産）が 12,807 百万円（対前年比+299 百万円・102.3%）となり、30 年度から 4 期連続で 100 億円の大台を維持し過去最高を更新した。

以 上